

取説説明書 簡易版

温湿度データロガー RX-350THP

簡易版 (正式版は下記URLよりダウンロードいただけます。)

この度は本製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みになり、永らくご愛用くださいますようお願い申し上げます。また、お読み頂きました後も大切に保管してください。

コントロールのためのソフトウェアは下記にて無償ダウンロードが可能です。また、製品のドライバや取扱説明書、G&Aの提供もしております。詳細は下記の弊社WEB AXELをご覧ください。【品番】2-7963-12で検索】
<https://axel.as-1.co.jp/>



重要注意事項

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等)への組み込みは考慮されておりません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

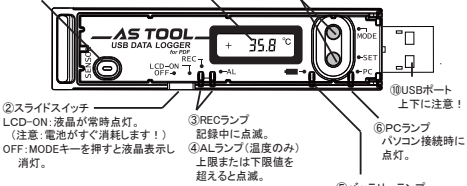
- ### 注意
- 取扱いを誤ると、人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
- 本機は精密電子製品です。強い衝撃を与えたり、過熱な環境に設置してはなりません。
 - 湿度センサーは化学薬品の影響を受けやすいため、蒸気・揮発薬品にご注意ください。
 - 本機は防水構造ではありません。直接雨、雪が当たらない場所で使用してください。
 - まだめれた手のまま使用しないでください。
 - 結露の起こる場所、急激な温度変化のあるところ、油煙や油蒸気の直接当たる場所、直射日光の当たる場所、仕稼外温度となる場所(本機の設置環境は+5~40℃です)では使用しないでください。
 - 電池交換以外で製品を分解・改造を行わないでください。また指定型番の電池を使用してください。
 - 塵が出入る、変位においがするなど、異常なときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに、周りに燃え移らない場所へ移動させ、安全を確認した後、電池を本体から抜き、修理をご依頼ください。

【重要】パソコンとの接続について

- 1 本機の取り扱いには少なからずパソコンの知識が必要となります。RS-232C、COMポート、Zip、administrator権限などの用語については詳しい方にお問合せください。Yahoo! Googleなどで検索すると詳細解説のページが見つかります。
 - 2 パソコンにソフトウェアをインストールするときは管理者権限(administrator権限)が必要です。社内のシステム管理部門にご相談ください。また、パソコンによっては本表を認識できない場合があります。この場合はパソコンを変えて試していただきますようお願いいたします。
 - 3 本機はCOMポート経由でデータの送受信を行います。モデム、UPS(無停電電源)、他のRS-232C接続ケーブルなど、COMポートを使用する機器と接続する不具合が起こります。(トラブルシューティング参照)
 - 4 アプリケーションソフトはZIP形式で圧縮されています。解凍ソフトはお客様でご用意ください。【意の社】<http://www.forest.impress.co.jp/lib/arc/> などでもダウンロードが可能です。
 - 5 ソフトウェアのインストールで生じたパソコンのトラブル(データ損失、ハード被害)に関しまして、弊社では一切の補償はいたしませんのでご了承ください。
 - 6 多くのUSB機器を接続すると電力不足で誤動作が起こる場合がありますのでご注意ください。
 - 7 弊社ではパソコンの取り扱い、データのグラフ化などのお問合せには対応できません。
- 8 本機の制御に使用できるパソコンの仕様と環境は下記項目が基準となります。
- ① Windows Vista/7/8/10 (32bit/64bit)がインストール済み(動作)
 - ② USBポートを持つもの。(※BIOS上でRS-232Cを認識できること)
 - ③ administratorの権限を持つ。ソフトウェアのダウンロード、インストールができること。
 - ④ インターネットに接続されていること(ソフトウェアダウンロード時のみ)
 - ⑤ ZIP形式の圧縮ファイルが解凍できること。
- 9 本機の形状はUSBメモリースティックの様ですが、通信方式はRS-232Cです。パソコンからはUSB機器ではなくCOMポート(通信ポート)として認識されます。パソコン内部に「外部ドライブ」や「USBメモリー」として表示はされません。

製品概要

- ① センサーポート
- ② スライドスイッチ
- ③ LCD-OLED液晶が常時点灯。(注意: 電池がすぐ消耗します！) OFF: MODEキーを押すと液晶表示し、ON: ALランプ(温度のみ)上限または下限値を超えると点滅。
- ④ MODEキー: 設定、及び状態確認に使用 ※必ずお読みください。
- ⑤ SETキー: 数値変更使用。
- ⑥ 液晶
- ⑦ USBポート 上下2ヶ所!



本体の使用準備(電池交換も同様です)

本機背面の血金紙を剥き、ケースを開いて電池を挿入してください。

※抜きときは反対からつまようじで電池ホルダーへ電池を挿してください。

注意! 上下のケースはUSBコネクタ側を引っ掛けてから閉じてください。

⑧ ケース開閉用 M2 x 6mmピッチ

⑨ ボタン電池 注意: 文字面が上

製品仕様

品名	温湿度データロガー
型名	RX-350THP (CODE: 2-7963-12)
サイズ	100.7 x 21.0 x 10.4 (mm) ※突起部含まず
重量	約20g (電池含まず)
電源	ボタン電池 (CR1220) / USBポートからの供給
記録容量	15000ポイント
測定範囲	温度: 5~90%RH 湿度: -20~70℃
測定間隔	2秒~50秒 1分~240分
測定精度	温度: ±0.8℃ (25℃) 湿度: ±4%RH (20~80%)

※電池寿命(参考値です) 1年(1時間間隔で測定、スライドスイッチOFF) 7日(10秒間隔、スライドスイッチOFF) 45日(1分間隔で測定、スライドスイッチOFF) 7日(測定なし、スライドスイッチON)



AS TOOL 株式会社

■ 商品に関するお問い合わせは カスタマー相談センター TEL: 0120-700-875 FAX: 0120-700-1863 <https://help.as-1.co.jp/q>

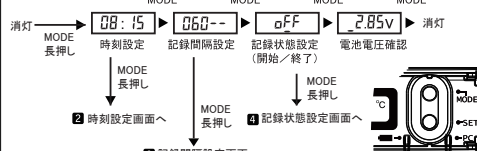
■ 修理依頼に関するお問い合わせは 修理窓口 TEL: 0120-788-535 FAX: 0120-788-763 repair@as-1.co.jp

※お問い合わせの際は、必ずお名前・住所・電話番号をお知らせください。 2018年7月 第2版作成

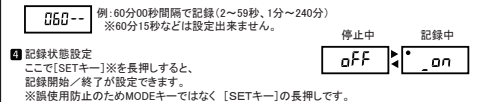
各種設定 (本体のキーを使った設定)

※これらの設定はアプリケーションソフトを使っても同じことができます。

- 1 **MODE**キーを長押しして、設定モードとなり、**MODE**キーを押す毎に、時刻設定 → 記録開始設定 → 記録終了設定 → 電池電圧確認 → **MODE**キーを押す毎に10秒間の操作がなかった場合、自動的に終了します。 ※ALランプ接続中は本体キーによる操作はできません。 ※10秒間何も操作がないときはLED表示は消灯します。



- 2 **時刻設定** ここで**MODE**キーを長押しすると、現在時刻を設定できます。現在時刻を設定する毎に値が可変します。設定動作では、SETを押す毎に値が可変します。**MODE**キーを押す毎に西暦一月一日一時一分と設定項目が変化します。(右図参照)
- 3 **記録開始設定** ここで**MODE**キーを長押しすると、記録開始(イタケム)を設定できます。SETを押す毎に設定値が可変します。左側3桁が分、右側2桁が秒を表示します。



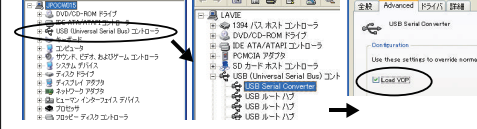
- 4 **記録状態設定** ここで[SET]キー※を長押しすると、記録開始/終了が設定できます。 ※誤使用防止のため**MODE**キーではなく [SET]キーの長押しです。
- 5 **電池電圧確認** 電池の電圧が表示されます。電圧表示は目安です。長期ログの前には電池交換を行ってください。 ※2.5V以下になるとログ記録の操作ができなくなります。

パソコンに本機を認識させる (ドライバインストールとCOMポートの設定)

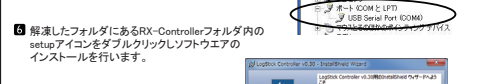
- 1 インターネットに接続し、必要なソフトウェアをダウンロードしてください。ドライバ、ユーティリティは弊社WEB AXELからダウンロードが可能です。こちらをご覧ください <https://axel.as-1.co.jp/> 【品番】2-7963-12で検索】 商品詳細ページよりアプリケーションソフトをダウンロードしてください。ダウンロードしたデータを解凍してください。(右図)



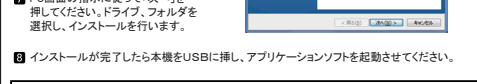
- 2 フォルダ内のODM***.exeファイルをダブルクリックしてドライバのインストールを開始します。インストール画面が表示されるので、メッセージに従ってドライバをインストールします。



- 3 ここで一度本機をパソコンから抜き、再度パソコンにつなぐください。
- 4 デバイスマネージャを開き、ポート(COMとLPT)にUSB Serial Port (COM4)があることを確認し、COM番号(例では4)をメモしておいてください。これパソコンに本機が認識されます。 ※デバイスマネージャの場所はOSで異なります。



- 5 解凍したフォルダにあるRX-Controllerフォルダ内のsetupアイコンをダブルクリックしてソフトウェアのインストールを行います。



アプリケーションを使った設定

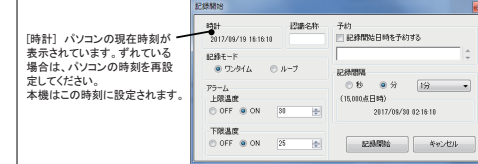
- 1 インストールしたRX-Controllerを使って各種設定を行います。本機をパソコンに接続し、デスクトップなどに作ったアイコンをダブルクリックしてアプリケーションソフトを起動してください。アプリケーションソフトがRXを認識すると下図のようになります。



- 2 [各種設定] ボタンを押すとRXの内部時計、認識名称、記録モードの設定ができます。
- 3 [時刻設定] クリックするとパソコンの内部時計を読み取り、RX内部時計の設定を行います。
- 4 [認識名称設定] 複数のデータロガーを使う場合、個別にID番号を"半角4文字"まで記入でき、測定場所や使用者名等の認識用としてご利用いただけます。
- 5 [記録モード設定] ワンタイム: 記録数が15000になると記録終了。 ループ: 記録数が15000を超えると古いデータを上書きし記録を継続(最大4ループ)。

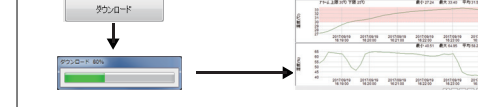
ログ(記録開始/予約登録)について

- 1 ログ内の[記録開始/予約登録]ボタンを押すと記録開始画面が開きます。
- 2 認識名称、記録モード、記録間隔を設定します。開始時間を予約する場合は"記録開始日時を予約する"にチェックを入れ、日時を設定してください。全ての設定が済んだ後、[記録開始]をクリックしてください。 ※上限、下限アラームについては取扱説明書を参照ください。



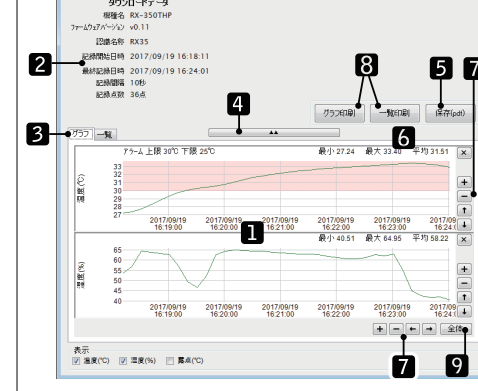
- ### 注意 正しい測定を行うために
- ① [記録開始]を押すと以前のデータは消去されます。
 - ② 長期の記録の前には電池の新品交換を行ってください。
 - ③ [記録開始]の場合、ボタンを押した時のデータは記録されません。 最初の記録データは記録間隔で設定した時間経過後になります。
 - ④ [予約登録]の場合、最初の記録データは予約を行った記録開始日時になります。
 - ⑤ 正しい測定ができることを知り記録時間試し、本機の操作に慣れてください。

- 3 記録終了は[記録を停止しダウンロード]ボタンを押します。自動的にデータがダウンロードされます。 ※予約動作中は"予約登録を取消"表示になります。
- 4 [ダウンロード]を押してください。進行中の表示が出てデータがパソコンに取り込まれます。



データダウンロード(グラフ表示)

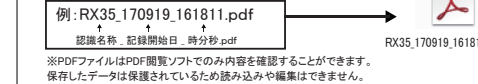
データダウンロードからグラフ表示を行うと下図のようなグラフが作成されます。



- 1 グラフ画面: 表示したい部分をカーソルで囲むと部分拡大が可能です。 ※可能な範囲を超えると選択範囲が赤く拡大は行えません。
- 2 情報画面のデータの測定情報表示
- 3 [グラフ一覧] 画面表示の切替
- 4 [▲▲] 情報画面の表示/非表示を切り替えます。
- 5 [保存] 記録データをPDFファイルとして保存します(データの保存参照)
- 6 [簡易情報] グラフ表示されている範囲の最大値・最小値・平均値を表示。カーソル位置の詳細情報が表示されます。
- 7 [拡大縮小/移動] グラフの拡大縮小/移動が行えます。
- 8 [印刷] グラフ一覧の印刷(※プリンタの種類によっては正常にできない場合があります。)
- 9 [全画面表示] グラフを全画面表示にします。

データの保存

データはPDF形式で保存されます。保存後は保護されるため編集ができなくなりデータの信頼性が高くなります。また、保存したデータを再度読み込むこともできません。 [保存]をクリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。ファイル名は初回設定は以下のようになります。



リアルタイム測定について

- 1 パソコンに接続した状態で現在の温度を常時測定します。
- 2 自動スクロールにチェックを入れると最新データが表示されるようグラフがスクロールします。 自動スクロール中はグラフの拡大・縮小が行えません。
- 3 記録したデータは[保存]を押すとPDF形式で任意のフォルダに保存されます。

アラーム機能(温度のみ)について

